

NPO 法人環境市民 理事会 第 10 期 第 6 回(通算 98 回)理事会 議題

(a)日時及び場所

日時:2021 年 3 月 17 日(水)13:00-15:00

場所:環境市民事務局、及オンライン

(b)理事の総数

14 人(うち定足数 10 人)

(c)出席した理事の氏名

杵本育生、太田航平、下村委津子

(オンラインによる参加)

石崎雄一郎、嘉田由紀子、片山雅男、加藤良太、神田浩史、瀬口亮子、早瀬昇、原田紀久子、松下和夫、松田直子

特定非営利活動法人環境市民定款第 40 条第 1 項の規定により表決権を行使した理事

白石克孝

合計14人となり、同定款第 38 条の規定により定足数(理事総数の2/3)を満たし、開会した。

(d)議長 下村委津子を指名

(e)議事録署名人 杵本育生、太田航平

(f)議事録作成者 下村委津子

■活動報告及び情報共有事項

担当者から下記の報告があった。

1 環境教育事業報告(下村)

- ・ エコスクール:水俣高校のグリーンフラッグ更新審査の実施
- ・ 環境活動パワーアップ講座:10月~12月に実施 参加者数:14人程度
- ・ 学校環境教育支援:ノートルダム女学院高校、3学期は中学でも授業実施
- ・ 講師派遣:8件(京都SDGsシンポジウム、浜松消費者連絡会、イオンリテーリング、大阪大学、立教大学、自由の森高校、JICA研修、神戸シルバーカレッジ)
- ・ CSOラーニング:オンラインによるインターン生の受け入れ2人

2 ライフスタイル事業報告(下村)

- ・ 持続可能な消費推進(ネットワークでの活動):企業のエシカル通信簿オンライン連続セミナー(10月~11月)、ぐりちょ サイト更新
- ・ 水Do!キャンペーン、Rifill:リフィルサミット in 京都への参画2/14(太田)
→当初はリアルでの展開を考えていたが、オンラインに切替実施。

→リフィルスポットを開拓中。みなさんにご協力をお願いしたい

- ・ 3R+α推進事業：京都市ごみ減量推進会議受託事業（動画の教材作成3本）
- ・ 自然エネルギー学校：6月～9月

3 社会経済システム事業報告（下村）

- ・ 原発のない社会をつくろう：いい再エネ、悪い再エネセミナー11/21（100人程度の参加）（石崎）、バイバイ原発きょうと3/6
- ・ CSR活動サポート：CSR検定試験の実施11/1

4 環境政策推進事業報告（下村）

- ・ 環境首都創造ネットワーク：環境自治体会議と統合新組織へ 持続可能な地域創造ネットワーク6/24発足、設立大会10/11、12実施
- ・ 環境首都創造NGO全国ネットワーク：地球環境基金「適応共創プログラム」
- ・ 自治体計画策定及び共同推進サポート：福知山市環境基本計画見直し事業9月～2月、東広島市ごみ減量講座の実施

5 持続型社会創造（下村）

- ・ グリーン連合：環境省との定期協議会の実施を枚本さんが実施

→オンラインで実施、NGO側の参加者100名、環境省職員100名程度（枚本）

- ・ あどぼの学校：していずんプロジェクト、プラットフォーム

→全4回の講座をゼミナール形式で実施。11名参加。（加藤）

→京都市の財政に関する勉強会の実施を開始（加藤）

→あどぼのすごろくの完成と展開。3月末にワークショップ（神田）

6 広報交流会員拡大（下村）

- ・ ニュースレター発行、電子かわら版

→ニュースレターは風岡さんが制作、ボランティアによる発送作業で次は3月31日、4月1日

- ・ ラジオチーム：番組制作、ネオニコ学習会1/31（全国から40人程度参加）
- ・ パンフレット作成：サービスグラントの活用、担当理事として加藤さんも参加
- ・ みどりの英会話：終了へ

7 その他（下村）

- ・ みどりの遺言プロジェクト：パンフレット完成、新パンフレット制作に向けて今週始動

■検討事項

1 2021年度通常社員総会日程と総会までのスケジュール確認

- ・ 開催候補日：6月12日（土）、13日（日）、19日（土）、20日（日）、26日（土）、27日（日）

→12日（×2人）、13日（×2人）、19日（×5人）、20日（×3人）、26日（×3人）、27日（×4人）

→本日参加されていない理事の調整を事務局で行った上、報告をさせていただきます。(下村)

- ・ 議案書送付：総会の14日前に社員に届くように

→PDFでの送付でも良いのでは？(早瀬)

→昔から応援いただいているご高齢の方もいらっしゃるの、メールと郵便での対応が必要(下村)

- ・ 総会に付議する事項・内容を承認する理事会：5月半ばまでに開催
- ・ 決算、予算、活動報告事項を検討する理事会：4月前半に開催

→調整を計った結果、4月15日(木)13:00～実施で決定

2 総会にかけるべき議題とその資料の確認、その議題を検討確定する理事会の予定日

→現状、総会資料は定款上総会の2週間前に送付することとなっているが、1週間前に定款の変更をしてもよいか？(下村)

→よいのではないか。民法上は確か5日前のはず(早瀬)

→役員選任を総会で実施することが今年度は必要(下村)

→現理事の方々には引き続き理事を継続いただきたい。追加した方が良い方がいたらご提案いただきたい(枚本)

3 総会の開催形式の確認 議事以外の内容案の検討

現状では、ハイブリッドでの開催の方向で検討していく。また、議事以外の内容は必要かどうかも含めて、次回理事会で再度検討。

4 現中期計画の進捗確認と具体的な取り組みの検討

主としてSDGsの活用を考えた事業展開について意見が交わされた。また、若者の関心が集まってきている現状を踏まえて、どのようにして環境市民の活動への関心を高め参画へとつなげていくのかも意見が出された。

→この間、議論が全然出来ていない。具体的にどのように進めていくかアイデアレベルで構わないので意見をいただきたい(下村)

→ディスカッションするにあたっての題材が必要？(下村)

→我々が働きかけるべき対象を再設定すべきかもしれません。例えばSDGsをどのように使って事業を展開していくのか？ということを考えていただきたい。(枚本)

→SDGsに対するアクションは、多様な活動を行う理事が環境市民にはいることから可能性がいろいろとあるのではないかと？(枚本)

→SDGsを活用した事業展開を行っているNPO/NGOがあるものなのか？(下村)

- オンラインになったことで参加の枠が広がり、企業の参加意欲は高い（神田）
- JICAの事業「京都SDGsラボ（テラ・ルネッサンスの展開）」が立ち上がっているが、マッチング系が多い印象で具体的に、、がまだ見えにくい（下村）
- 具体的な活動を行なっている学生が増えていると実感。本気度が違う。2050年に40代になる世代。その世代に現活動をどう引き継いでいくかも考えながら事業展開を考えては？（石崎）
- ボランティア希望者は今もコンスタントに多い（下村）
- NPOが持っている問題意識はみなさんに知って欲しい。消費を変えることで自分も社会も変えられるということは分かりやすい題材になる（枚本）
- 環境市民の活動はSDGs16にも具体的に関わる。ここをもっとPRしては？（加藤）
- マルチステークホルダーのプラットフォームとして多様なNPOセクターと課題について共有し、行動していくような活動をしていくのはどうか？（太田）
- SDGsは後10年。もっと本気度を見せられる事業が欲しいところ。SDGsウォッシュ的なものではダメだという展開も必要。（加藤）
- SDGsは実は自分ごとになっていないNPOも多い。活動をしていけばどこかには引っかかる。ツールとしてのSDGsをもっと浸透させていくべき。企業主導で市民社会側が後退する可能性もある。（神田）
- 24年のその先を、、みたいな理事構成を考えてもよいかも。（神田）
- 次回の理事会でのディスカッションに向けて整理したいと思います（下村）

次回理事会 4月15日